

みんなで築こう安心安全  
おもてなしのまち下京区  
運動プログラム

「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」

下京区版プログラム

みんな

で

築こう!



下京区のマスコット  
「シモン」ちゃん

世界一安心安全・おもてなしのまち京都 下京区推進協議会

 京都市 下京区 Shimogyo Ward

# 目次

	ページ
<b>1 下京区の安心安全への道のり</b> . . . . .	<b>1</b>
<b>2 これまでにやってきたこと</b> . . . . .	<b>2</b>
<b>3 下京区の犯罪情勢</b> . . . . .	<b>3</b>
<b>4 これから取り組む重点項目</b> . . . . .	<b>4</b>
<b>5 これからの具体的な取組</b> . . . . .	<b>5</b>



**「オール下京」で安心安全なまちに！！**

# 1 下京区の安心安全への道のり

下京区は、約8万3千人の区民の皆さんが暮らし、また、京都の玄関口で一日50万人を超える乗降客がある京都駅を抱え、区外からも通勤・通学や観光などで多くの方が訪れる行政区です。このように、たくさんの方が下京区内で日々を過ごしておられますが、安心安全に、笑顔で過ごしたいというのは、皆さん誰にも共通する切なる願いではないでしょうか。

一方、京都市内の刑法犯認知件数を見てみますと、平成25年に21,326件と、平成16年の42,395件と比べ半減していますが、近年、自転車盗難などの街頭犯罪や、高齢者を狙った特殊詐欺が多発しているほか、子どもや女性が被害を受ける犯罪も依然として発生している状況です。

また、京都駅周辺など人の多く集まる地域での危機管理対策も必要となってきました。

こうした状況を踏まえて、平成26年7月31日に京都市と京都府警察は、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」の協定を締結し、市内の犯罪件数を、平成25年の21,326件から平成32年に1万件台半ばにするとの目標を掲げて取組を始めました。

しかし、行政だけの取組では、なかなか皆さんの安心安全に対する切なる願いを叶えることはできません。

この願いを叶える鍵は、このまちに暮らし、活動している皆さん自身と一緒にあって取り組んでいただくこと、これに尽きます！

そこで、平成27年11月に推進組織である「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 下京区推進協議会」を立ち上げ、「地域」、「事業者」、「行政」が一体となり「オール下京」で、「世界で輝く安心安全で心安らぎ心温まるおもてなしのまち下京」に向かっていくこととしました。

この下京区版プログラムは、平成28年度～平成32年度において、「オール下京」で具体的に行動していく5年間の指針です。



## 2 これまでにやってきたこと

### 1 下京区安全・安心まちづくり連絡会議

下京区では、平成 25 年 6 月に下京警察署と下京区役所が防犯意識や交通安全意識の高揚等に向けた連携を図るため「下京区安全・安心まちづくり連絡会議」を設置し、自転車盗難防止のためのワイヤーロックとひったくり防止カバーの配布やマンション等への自転車盗難防止啓発ビラの配布などの取組を地域の防犯ボランティアの方々と共に連携して行ってきました。



### 2 見守り活動など地域の取組

「オレオレ詐欺」などの「特殊詐欺」や多発する自転車盗難などの被害の防止、児童の登下校時の安全を見守るための取組として、地域の防犯ボランティアの方々が、高齢者世帯への個別訪問や、街頭での啓発活動、通学路での見守り活動を進めています。



### 3 事業者による取組

下京区内は商業施設が多く、万引きが多発していることから、事業者の方々が中心になって、万引きを撲滅するための啓発活動が行われています。その他にも、金融機関などを利用する地域の皆さんが詐欺被害に遭わないように、各種企業・団体の方々による啓発活動が行われています。



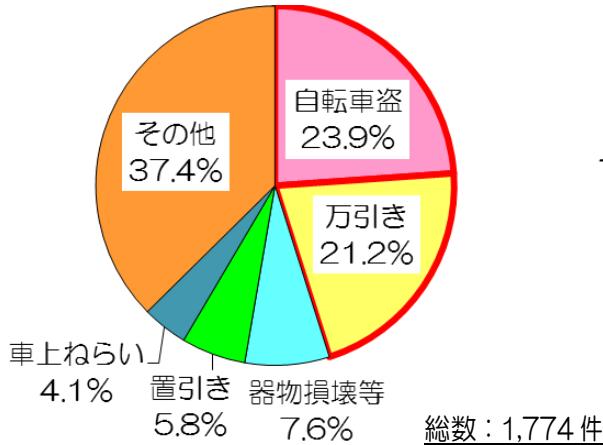
### 3 下京区の犯罪情勢

#### 1 刑法犯認知件数

平成 27 年中の下京区内の刑法犯認知件数は 1,774 件で、前年対比 203 件の減少となっています。京都市全体（15,934 件）に占める割合は約 1 割となります。

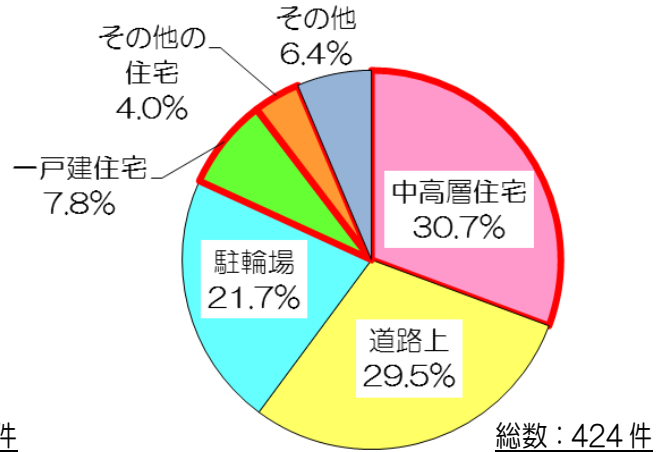
#### 2 特徴・傾向

犯罪の種類



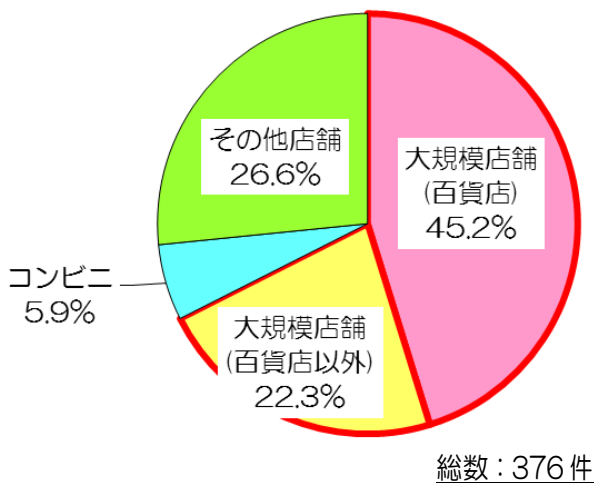
自転車盗難(427 件)と万引き(376 件)で全体の4割を超えています。毎日、下京区内で自転車盗難と万引きが1件以上発生している計算になります。

自転車盗難の発生場所



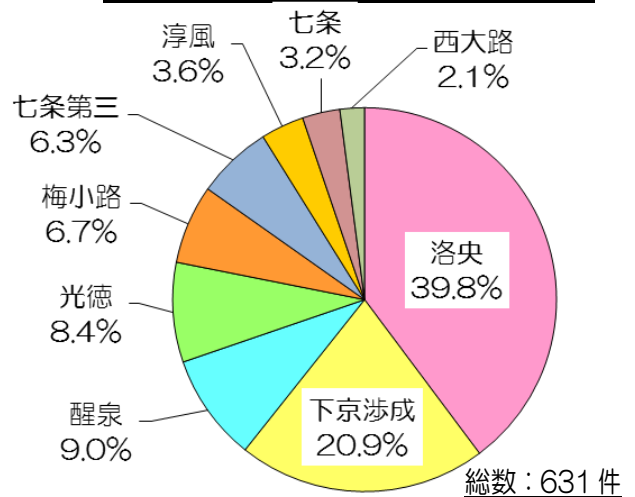
被害にあった自転車のうち半分は鍵がかけられていませんでした。自転車の鍵かけの重要性を啓発する必要があります。

万引きの発生場所



下京区は京都市内で最も万引きが多い地区となっています。万引きを撲滅していくためには、それぞれの店舗と連携・協力した対策が不可欠です。

小学校区別街頭犯罪発生状況



発生の割合は、洛央学区と下京渉成学区で高く、最も多く発生している街頭犯罪は自転車盗難です。

※ 街頭犯罪とは、市民の皆さんの身近で起きやすい犯罪で、地域の治安を表す指標の一つとして用いられるものです。手口としては、ひったくり、車上ねらい、自動販売機ねらい、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、部品ねらい及び路上や公園、駐車場等の街頭で発生した強盗、恐喝、強制わいせつ、器物損壊等をいいます。

## 4 これから取り組む重点項目

下京区に住む誰もが安心して、笑顔で楽しく暮らし、下京区を訪れる誰もが安心して過ごせる、やさしさあふれるおもてなしのまちを実現するため、5年間で取り組んでいく最初の年度である平成28年度においては、以下の4項目を重点項目とします。今後、下京区における犯罪発生状況などを基に、随時見直していきます。

### 1 自転車盗難防止

自転車盗難は、下京区内の刑法犯認知件数の約4分の1を占める最も多い犯罪であり、そのうち、4割超がマンションや一戸建てを含む皆さんのお住まいで発生しています。また、店舗等の軒先を含む道路上でも3割弱が発生しています。区民の皆さんと事業者を含む地域全体が連携して、被害防止に向けて取り組みます。



### 2 万引き防止

下京区における万引き被害件数は、自転車盗難に次いで2番目に多く、百貨店等の大規模店舗での発生が全体の約7割を占めます。大規模店舗を中心に各事業者と連携し、万引きされにくい店舗づくりや万引きを許さない気運づくりに取り組みます。



### 3 子ども、高齢者、女性に関する犯罪防止

犯罪の対象者となりやすい「子ども、高齢者、女性」が犯罪に巻き込まれることなく安心・安全に暮らすことができるように、見守り活動をはじめとした取組を重点的に実施します。

特に「子ども」については、学校とも連携を図り、子どもたちが持つ力（発信力等）を十分発揮する主体者となれる取組も行います。

また、特殊詐欺に関する不審な電話や訪問などについて、日々区や警察へ相談が寄せられており、実際に被害に遭われる方もおられるため、大切な財産を奪われないよう意識を高め被害を食い止めていく取組を行います。



### 4 地域特性に応じた安心・安全な環境づくり

商業・賑わいの中心地である下京区は、京都の玄関口である京都駅周辺、商店や百貨店をはじめとする商業施設の集積する地域、観光・レジャーで新たな賑わいを作り出している梅小路公園など、人が多く集まる地域を有しています。これらの地域と、日々区民の皆さんが暮らし、活動する地域において、それぞれの特性に応じた安心・安全な環境づくりに取り組みます。

## 5 これからの具体的な取組

### 1 重点項目の取組を始めるための気運づくりやインフラづくりの取組

- ・ 毎月14日を『下京区防犯の日』に指定
- ・ 毎年定期的に啓発イベントを開催
- ・ 下京区防犯カラーの設定（スカイブルー）
- ・ 各種『安全・安心セミナー』を開催
- ・ 犯罪情勢や地域安全情報の積極的な提供
- ・ 防犯カメラの設置促進（5年間で100～150台）
- ・ LEDセンサーライトの設置促進



### 2 重点項目ごとの取組・活動例

#### ① 自転車盗難防止

- ・ 自転車盗難件数の多いマンション等に対し、重点的に注意喚起と防止策の実施を働きかける
- ・ 自転車盗難件数の多い場所でワイヤーロック配布による2ロック啓発

#### ② 万引き防止

- ・ 百貨店をはじめとする店舗に対し、万引き防止の講習を実施
- ・ 店内放送やポスター掲示（特に未成年・高齢者向け）
- ・ 定期的な防犯パトロール
- ・ 防犯アドバイザー派遣による店づくり（陳列・レジ位置・店員配置等）のチェック&アドバイス



#### ③ 子ども、高齢者、女性に関する犯罪防止

- ・ 登下校時の見守り活動等を実施し犯罪の起こりにくい環境づくりを目指す
- ・ 子どもや高齢者もよく利用するコンビニエンスストアやファーストフード店などに対し、深夜の来店時の見守りや声掛けを依頼
- ・ 小中学校と連携した、誘拐などから身を守るための防犯教育
- ・ 女性を狙った犯罪から身を守るための具体的な対処術等を紹介する広報・啓発活動
- ・ 特殊詐欺の被害の現場ともなりやすい金融機関等の事業者・地域団体と連携した啓発活動



#### ④ 地域特性に応じた安心・安全な環境づくり

- ・ 防犯設備士による防犯点検の実施
- ・ 交通ルール、ごみのポイ捨て禁止などのマナーの徹底による犯罪の起きにくいまちづくり
- ・ インターネット空間の安全利用に向けたセミナーの開催（サイバー攻撃への対策・スマホ普及への対応等）
- ・ 京都駅周辺や四条通周辺などにおける危機管理対策の強化
- ・ 地域住民と外国人を含む観光客の相互理解を進めるための啓発活動

## ～ おわりに ～

これから、下京区に住む誰もが安心安全に、笑顔で楽しく暮らし、下京区を訪れる誰もが安心して過ごせる、やさしさあふれるおもてなしのまちを実現するための5年間は始まります。

この平成28年度～平成32年度の5年間で、下京区内における刑法犯認知件数を1,500件以下にすることを目標として掲げ、毎年度、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 下京区推進協議会」で、前年度の取組を振り返り、下京区における犯罪情勢などを基に、次年度の取組について、必要に応じて、随時柔軟に見直ししながら、取組を進めていきます。

1つ1つの取組はそれぞれ地道に少しずつ進めていくこととなりますが、5年後10年後と、より安心して安全な進化した下京区を感じられるよう、オール下京区で、頑張っ<sup>て</sup>汗していきましょう！！

### 協議会委員

下京区自治連合会会長連絡会、下京区市政協力委員連絡協議会会長会、下京防犯推進委員協議会、下京区交通対策協議会、下京区自主防災会連絡会、下京区地域女性連合会、下京少年補導委員会、四条繁栄会商店街振興組合、京都駅ビル開発(株)、下京自衛消防連絡協議会、七条中学校、七条第三小学校、京都産業大学名誉教授

1枚の割られた窓ガラスをそのままにしていると、更に割られる窓ガラスが増え、いずれ街全体が荒廃してしまう、割れ窓理論という理論があります。

自転車盗難や万引きは、その1件1件は、比較的軽微な犯罪に思えるかもしれませんが。

しかし、この1件1件を見過ごさず、対策に取り組むことで、より重大な犯罪も抑止し、まちの安心安全確保に繋げていきます。



### お問合せ先

#### 本プログラムに関するお問合せ

下京区役所地域力推進室

電話 075-371-7163 (直通)

FAX 075-351-4439

#### 不審者等に関する情報提供・警察安全相談

下京警察署

電話 075-352-0110 (代表)

#### 防火等に関するお問合せ

下京消防署

電話 075-361-4411 (代表)